

「二宮町役場新庁舎建設基本構想・基本計画（案）」に対する 意見募集の結果について

「二宮町役場新庁舎建設基本構想・基本計画（案）」について、ご意見を募集しました。期間中にいただいたご意見の内容と、ご意見に対する町の考え方を公表します。

[意見募集の概要]

1. 意見募集期間

平成30年11月28日（水）から平成30年12月28日（金）まで

2. 提出方法

郵送、FAX、電子メール、直接持参

3. 意見提出件数

意見提出者数 11名 55件

<意見内容の区分内訳>

庁舎建設の必要性に対する意見	2件
上位計画・関連計画等に対する意見	1件
基本理念と基本的な考え方に対する意見	1件
防災機能に対する意見	3件
町民機能に対する意見	8件
執務機能に対する意見	3件
環境性能に対する意見	2件
議会機能に対する意見	3件
建設場所に対する意見	4件
新庁舎の必要面積に対する意見	1件
概算事業費に対する意見	3件
事業スケジュールに対する意見	1件
財源の検討に対する意見	4件
その他の意見	19件

4. 意見の内容

別紙のとおり

(別紙) 意見内容及びそれに対する町の考え方

番号	意見項目	意見内容	町の考え方
1	庁舎建設の必要性	<p>○将来的には移転に賛成だが、南海トラフ大津波で壊滅しそうな市町村や耐用年数を過ぎた交通インフラのような緊急性は認められない。地震で現庁舎が使えなくなっても、他の施設での分散執務が可能なはずである。不急の公共事業は景気後退や外国人就労で建設労働力不足が解消する頃まで待つべきである。</p> <p>○公共施設の再配置が不明なまま、新庁舎建設を早急に行う理由がわからない。学校の統廃合の中で整備し、民間活用をする算定比較がないまま進められてよいのか。町の財政は住民の生活保障、共通利益や共通ニーズを満たすために使われなければならないはずだが、新庁舎建設はその必要性を満たしているとは思えない。</p>	<p>○現庁舎は耐震性の不足のほか、老朽化、バリアフリーへの対応不足、行政機能の分散化など多くの問題を抱えており、町民サービスや業務効率の低下が懸念されます</p> <p>さらに、耐震性の不足により大規模災害が発生した際に防災・災害対策拠点としての果たすべき役割を十分に担えない可能性があり、早急な対応が求められることや、今後ますます多様化する行政需要に対応するためにも、新庁舎整備の計画を進めていきたいと考えています。</p> <p>○公共施設の再配置については、「二宮町公共施設再配置・町有地有効活用実施計画」に基づき施設ごとに実施していく計画となっており、学校統廃合については現在、教育委員会を中心となり将来を見据えた学校のあり方を検討しています。</p> <p>現庁舎の状況は、耐震性の不足のほか、老朽化、バリアフリーへの対応不足、行政機能の分散化など多くの問題を抱えているため、町民の皆さまの安全・安心を守り、利便性の向上を目指すため、新庁舎建設の計画を進めてまいります。</p>

番号	意見項目	意見内容	町の考え方
2	上位計画 ・関連計画 等	○庁舎建設だけが急に動き出し、総合計画に適合するのか、地域防災計画の災害時応急活動拠点となりうるのか、公共施設再配置に関する基本方針の三原則、4つの基本方針に抵触すると疑問に思う。	○災害対策本部の強化を図るため、防災中枢機能を果たす庁舎の施設・設備の充実及び災害に対する安全性の確保が必要であると考えます。 公共施設三原則の中では、施設総量の削減を図ることとしておりますが、現時点では、あくまで職員数に一人当たりの必要面積を乗じた規模算定であるため、今後、基本設計の中で精査し、適正な面積とする予定です。 なお、基本構想・基本計画（案）では、現庁舎の課題の1つとなっている狭あい化を解消し、行政機能の集約化をすることで利便性の向上を図る計画としています。
3	基本理念と 基本的な考 え方	○基本理念、基本的な考え方が基本計画に反映されていない。ハザードマップの洪水浸水予想区域、土砂災害警戒区域でその対策が記載されておらず、安全安心とは言えない。	○土砂災害警戒区域（急傾斜）は、土砂災害防止法に基づく県の調査により、一定の条件（傾斜度が30度以上で高さが5m以上の区域等）に該当すると指定されるものであるため、直ちに危険が及ぶというものではありませんが、必要に応じて対策を講じていきます。 また、洪水浸水予想図については、1時間最大雨量が94mmの場合に、葛川の越水により1m未満の浸水が予想されるものであり、引き続き、葛川の河川改修の早期事業推進を県に要望するとともに、土地の特性を踏まえたうえで、建物自体の嵩上げなどの必要な措置を講じていきます。

番号	意見項目	意見内容	町の考え方
4	防災機能	<p>○免震構造の必要性について疑問である。地上部3階の建物で上部の揺れもそれほど大きいものになるのか。一般には免震構造のほうが建築コストが高い一方、発災時の復旧コスト・スピードが高いとされているが、メンテナンス費用もどうなるのか。</p>	<p>○東日本大震災や熊本地震において、免震構造の災害対策拠点については免震装置が十分に機能を発揮したことが確認されています。災害時に防災拠点としての機能を確実に維持するため、基本構想・基本計画（案）では、より耐震性能が高く建物に損害を与えない免震構造による建設を計画していますが、いただきましたご意見をふまえ、建物基礎構造については、初期費用やメンテナンスコストを含めた各構造の総合評価により、再度検討したうえで決定するよう修正します。</p>
		<p>○太陽光発電パネルは、どの程度の電力を賄うのか。また、自家発電設備はどの程度の電力供給を想定しており、燃料の備蓄は安全か。太陽光は蓄電するのか。</p>	<p>○各設備の能力等につきましては、建物の内部や導入する設備を具体的に基本設計の中で、費用面等も考慮し、検討していきます。</p>
		<p>○マンホールトイレについて、どのくらいの人数が何日ぐらい使用できる想定か。</p>	<p>○マンホールトイレは、ラディアン花の丘公園に6基あり、1基あたり50～100人／日程度が利用可能です。被災状況によりますが、構造に損傷がなければ長期間利用可能ですので、新庁舎建設にあたって整備するものは、必要量等を考慮し研究していきます。</p>

番号	意見項目	意見内容	町の考え方
5	町民機能	○福祉課のとなりに小さくてもキッズスペースがあるとい い。	○いただきましたご意見については、基本計画「町民機能」に 基づき、子ども連れの来庁者が多く利用する窓口の近くな どの適切な場所に設置する計画としています。
		○おむつ替えは男性も行うため、授乳室とおむつ交換室は別 室にしてほしい。 ○授乳室は母親が使う場だが、おむつ替えスペースは父親も 利用することになるため、カーテンではなく壁で仕切る必 要がある。逆にミルク用のお湯は授乳室だけではなくおむ つ替えスペースに必要なになる。	○いただきましたご意見については、基本計画「町民機能」に 基づき、授乳室とおむつ交換室を別室にすることや壁で仕 切ることなど、基本設計の中で具体的に計画いたします。
		○コンビニ等テナントは入るのか。	○売店や食堂などについては、出店の可能性や必要性なども 調査・研究していきます。
		○電子掲示板より計画、財政資料、審議会資料、イベント一 覧などが自由に閲覧できる行政情報コーナーの設置が必 要である。	○いただきましたご意見については、基本計画「町民機能」に 基づき、行政情報等を1か所で入手できるように配架スペ ースの充実を図り、利便性が向上するような計画としてい ます。

番号	意見項目	意見内容	町の考え方
5	町民機能	<p>○施設の物理的セキュリティレベルを設け、一般町民が出入りする区域、職員の区域、特定の職員等の区域を定め、セキュリティ管理を実施すべきである。職員と町民が会う場所を定め、一般の人がセキュリティゾーンに許可なく侵入することは禁止すべきである。</p> <p>○機密性の高い各種資料のセキュリティ重要度をレベル分けし、その保管場所と管理手段を明確化することでソーシャルセキュリティ対策をしっかりとすべきである。</p>	<p>○いただきましたご意見については、基本計画「町民機能」に基づき、セキュリティ対策について実施する計画としています。</p>
		<p>○新庁舎に町民活動に利用できる会議室、小規模の集会等が可能な場（無償利用）の提供をお願いしたい。</p>	<p>○新庁舎の規模については、国が定める基準等により算定し、分散している保健センターなどの行政機能を集約することとしていますが、必要最低限の規模とするため、一般開放する会議室や集会室については、新庁舎に配置するのではなく隣接するラディアンを利用させていただき計画としています。</p>
6	執務機能	<p>○隣接自治体との合併や統合を考慮し、内装の変更・拡大・縮小に柔軟性を持たせる。</p>	<p>○いただきましたご意見については、基本計画「執務機能」に基づき、時代の変化や機能の変化にフレキシブルに対応できる新庁舎となるよう、計画していくものとしています。</p>
		<p>○職務内容に応じてフリーアドレスを導入する。</p>	<p>○フリーアドレスの導入については、対象部署や効果などを検証しながら、研究していきます。</p>
		<p>○特別室の広さは妥当なのか。</p>	<p>○現在の面積は「総務省・地方債同意等基準」を基に算定しているものであるため、詳細な必要面積は、今後の基本設計で算定していきます。</p>

番号	意見項目	意見内容	町の考え方
7	環境性能	○基本計画の中でエコマテリアルに触れているので、基本構造を木造にすることも検討してほしい。神奈川県産の木を使うことで地産地消効果もある。免震構造も可能であり、躯体重量が軽量化できるため、免震装置の数量、基礎等もコストダウンが可能である。何より、里山の風景にマッチした温かい空間となる。	○木造で建設すること自体は可能ではありますが、費用や工期、耐用年数などを踏まえた検討が必要であると考えております。
		○基本計画に ZEB の考えが盛り込まれているので、着実な推進を期待する。一方で、新庁舎だけでなく、隣接する生涯学習センターも合わせて再生可能エネルギーの発電設備を設置し、両施設を連携させた ZEB 化することを要望する。	○いただいたご意見は、基本計画「環境性能」に基づき、基本設計の中で、費用対効果を踏まえ、導入を検討いたしますが、新庁舎の整備と合わせた生涯学習センターの ZEB 化については難しいと考えます。
8	議会機能	○議会更衣室や図書室は不要であり、ロッカーと本棚があればいい。また、手話通訳者や陳情者が待機でき、町民と話せる個室があれば、議長室は不要。	○いただいたご意見は、基本計画「議会機能」に基づき、機能の必要性を踏まえた配置計画を検討いたします。
		○現在の議員定数は 14 名で今後は減少が予想される中で可動式の議場は不要であり、今までの委員会室程度の規模でよい。今後の住民参加など、開かれた議会を考えると平場の方が良い。議会会議室も不要である。	○議場につきましては、議員の変動に柔軟に対応できるように計画することとしており、また、閉会中は本会議以外にも利用できる仕様を計画しております。

番号	意見項目	意見内容	町の考え方
8	議会機能	<p>○議会には、磁気ループの設置など現在可能なバリアフリー化が求められる。また、議場では傍聴者が執行者と議会の間にくる形が良いのではないか。本会議場は、今のような天井の高い立派な構造は不要である。議場をホール・集会場として使用できるよう多機能にすることで、議会も町民に身近になるほか、駅前町民会館の機能でラヂアンがカバーしきれない中規模のホールについて満たすことはできないか。</p>	<p>○議会においても庁舎内と同様にバリアフリー化を計画していきます。</p> <p>議場につきましては、議員の変動に柔軟に対応できるように計画することとしており、また、閉会中は本会議以外にも利用できる仕様を計画しております。</p>
9	建設場所	<p>○地震対策ということで早急に動きだし、4つの選択肢から最適地を選択しているが、学校の統廃合を念頭に置くと適地とは言えない。敷地も狭く、調整池の上も駐車場にして確保できるのか。また、埋蔵文化財包蔵地なので、スケジュールとおりに早急に進められるのか。</p> <p>○候補地の地盤等、事前調査はどのような指示のもと検査・調査が行われ、どういった結果であったのか、不安解消につながるため資料とともに説明してほしい。</p>	<p>○駐車場については、周辺施設と一体的に考える必要があるため、必要台数の確保に向けて検討いたします。</p> <p>事業スケジュールについては、現時点で考えられる最短の場合を示しておりますが、様々な要因により変更が生じることもあると考えております。</p> <p>○建設予定地の地盤については、過去に神奈川県住宅供給公社が実施した地質調査の結果から、支持層までの深度が10～15mであることやラヂアン建設の際の調査結果により液状化をする土地ではないことが確認されています。今後、建物の規模等を決める段階で、改めて地質調査を実施し、その結果につきましては、町民の方にお知らせしていきます。</p>

番号	意見項目	意見内容	町の考え方
9	建設場所	<p>○ハザードマップに土砂災害警戒区域と浸水想定区域とあるが、周辺道路も含めて液状化や冠水によって災害拠点が孤立する心配はないか。</p> <p>○新庁舎候補地は、水害があった時に浸水や孤立の危険性が高いエリアになると思うので、最大限備えをした上で更に別の場所でも防災拠点として機能できる場所を確保するなど、広い視野を持って進めてほしい。</p>	<p>○建設予定地は、ラディアン建設の際の調査結果により液状化をする土地ではないことが確認されています。</p> <p>○土砂災害警戒区域（急傾斜）は、土砂災害防止法に基づく県の調査により、一定の条件（傾斜度が30度以上で高さが5m以上の区域等）に該当すると指定されるものであるため、直ちに危険が及ぶというものではありませんが、必要に応じて対策を講じていきます。</p> <p>また、洪水浸水予想図については、1時間最大雨量が94mmの場合に、葛川の越水により1m未満の浸水が予想されるものであり、引き続き、葛川の河川改修の早期事業推進を県に要望するとともに、土地の特性を踏まえたうえで、建物自体の嵩上げなどの必要な措置を講じていきます。</p>
10	新庁舎の必要面積	<p>○将来を見据えると行政連携、民間連携、技術革新が考えられ、庁舎の在り方、勤務時間、勤務場所、配置人員も大幅に変えなければならないと思うが、現在の想定から算出してよいのか。庁舎必要規模が適正とは思えない。</p>	<p>○執務機能については、町民の方の利便性を向上させるため、現在分散化している行政機能を集約化する計画とし、現在の職員数により規模を想定していますが、時代の変化や機能の変化にフレキシブルに対応できる庁舎とすることを計画しております。</p> <p>また、職員数の減少により空きスペースが生じた場合の利活用についても検討していきます。</p>

番号	意見項目	意見内容	町の考え方
11	概算事業費	<p>○4月時点で15億と出ていた概算が12月には26億円を超えている。どのような部分で増額となったのか町民に説明してほしい。</p>	<p>○基本構想・基本計画（案）では、建物の構造形式をより耐震性能の高い免震構造とする計画とし、近年竣工した免震構造の自治体の例を参考に、かつ、行政機能を庁舎に集約することを踏まえ、概算事業費を試算しています。</p> <p>なお、事業費については、構造や設備等で変動があり、今後の基本設計や実施設計を行う中で、詳細な金額を算出することになります。</p>
		<p>○ZEBの目標値や、建設コストだけではなく、電力や構造の違いによるランニングコストの比較などもすべきである。</p> <p>○メンテナンス等長期的なランニングコストはどうか。</p>	<p>○基本構想・基本計画（案）では、環境性能についてZEBの考え方に基づき環境配慮型の庁舎を目指すこととしていますが、効果等については、導入する設備や機能を具体的に決めていく基本設計の中でランニングコストも含めて検討します。</p>
12	事業スケジュール	<p>○事業スケジュールには説明、情報提供の記載しかなく、抜本的、大幅な修正、住民ニーズの細やかな反映は想定していないように思う。</p>	<p>○町民の方と情報を共有し、対話をしながら計画を進めていくとともに、進捗状況についても、随時お知らせできるよう努めていきたいと考えております。</p> <p>また、今後も計画を進めて行く中で、様々な場で、段階ごとに説明会やご意見を伺う機会を設けていきたいと考えています。</p>

番号	意見項目	意見内容	町の考え方
13	財源の検討	<p>○町民の一番の関心は町民の意見がどう反映されるかと建設経費である。この計画では経費をどう確保するかが不明であり、事業費の見通しが見つからない計画は単に絵に描いた餅で、町民には判断できないし無責任であるため、事業費をどう確保するか明らかにすべきである。最悪はお金がなから節約し、安価で中途半端な庁舎を作ることである。</p> <p>○やはり財源が疑問。子どもたちに意味のあるツケを回すならいいが、どう返していくのか。歳入を増やす策もいい加減考えてほしい。</p> <p>○建設には借金は免れない。返済計画は十分検討し、公開する。返済の状況は毎年町民にわかる様報告する。</p> <p>○地方債 18 億から 23 億近く、一般財源 4 億から 8 億近くで維持管理費は算出しておらず町の財政は大丈夫なのか懸念される。これを実施すると財政的にどのような影響がでるのか説明してもらいたい。</p>	<p>○庁舎の建替えについては、長期に渡り積み立てを行い、準備を進めておくべきところですが、現状では、庁舎に関する基金は無いため、今年度から積み立てを行います。</p> <p>なお、主たる財源は地方債による事業の実施となりますが、平成 28 年に発生した熊本地震の被害状況を踏まえ創設された「市町村役場機能緊急保全事業」は、昭和 56 年の新耐震基準導入以前に建設され、耐震化が未実施の庁舎の建替えについて財政措置を講ずることとされており、当初は、平成 32 年度までの事業が対象となっていたものが、昨年 12 月に総務省が経過措置として、平成 32 年度までに実施設計に着手した事業については、平成 33 年度以降も現行と同様の地方財政措置を講ずることとされたことから、活用できるよう準備を進めているところです。</p> <p>他にも、利用可能な各種補助金の情報収集を継続しながら、限られた財源を有効に活用し、新庁舎建設事業が町財政に与える影響を最小限に抑えながら、計画的に事業を進めていきたいと考えております。</p>

番号	意見項目	意見内容	町の考え方
14	その他	<p>○現庁舎を解体した後の敷地に優良企業の社屋を誘致する。</p>	<p>○いただいたご意見は、今後の現庁舎跡地の活用の参考とさせていただきます。</p>
		<p>○庁舎建設に関する町民への情報提供に問題がある。2月の説明会での限られた人だけでなく、この間も経緯も含め正しい情報を何度も町民に伝えるべきである。</p> <p>○町民への説明会・広報とあるが、町民の意見を聞いて計画を進めるというスタンスではなく、あくまで説明である。ラディアン建設のように、町民の意見を聞く機会を作るべきで、このまま進むと町民から多様な意見が噴出しかえって時間がかかる。</p> <p>○知らない間に予算が跳ね上がるという事のないよう、町民との計画の共有、合意形成、変更があるとしても進捗状況の随時公開で透明性のある建設計画とし、広報の一部などで毎月進捗状況を公表できれば分かりやすい。</p>	<p>○町民の方と情報を共有し、対話をしながら計画を進めていくとともに、進捗状況についても、随時お知らせできるよう努めていきたいと考えております。</p> <p>また、今後も計画を進めて行く中で、様々な場で、段階ごとに説明会やご意見を伺う機会を設けていきたいと考えています。</p>
		<p>○人口、職員の働き方、役場に求められるものが10年、20年、30年先に違うものになっていく。そこを見据えた計画と言えるのか。</p>	<p>○庁舎の規模等については、現在の職員数により規模を想定していますが、時代の変化や機能の変化にフレキシブルに対応できる庁舎とすることを計画しております。</p> <p>また、職員数の減少により空きスペースが生じた場合の利活用についても検討していきます。</p>

番号	意見項目	意見内容	町の考え方
14	その他	○駐車場になるテニスコートの稼働率が高いと思うがどうするのか。緑が丘一か所になるなら金をかけて整備すべし。	○基本構想・基本計画（案）では、現在の調整池を駐車場とする計画としているため、ラディアンテニスコートは廃止となる予定です。新たなテニスコートの整備については、現状計画していませんが、いただいたご意見も参考とさせていただきます。
		○庁内で縦割りで意見を聞いており、今までなかったスペースや機能は誰が提案するのか。よほどの発想力がなければ今の役場がただ単に新しくなるだけ。ほかの自治体や、民間の建築物の視察に行くべき。	○いただいたご意見は参考とさせていただき、近隣市町を含め、他自治体の事例を研究しながら計画を進めていきます。
		○3校ある小学校を山西小学校と一色小学校2校に減らし、二宮小学校の校舎を活用する。足りないものだけ新築し、役場の機能は確保する。二宮小学校は立地もよく、耐震工事も済んでいるため、十分災害センターとして使用可である。	○「二宮町公共施設再配置・町有地有効活用実施計画」に基づき、学校統廃合については現在、教育委員会が中心となり将来を見据えた学校のあり方を検討しています。 現庁舎は、耐震性の不足により大規模災害が発生した際に防災・災害対策拠点としての果たすべき役割を十分に担えない可能性があり、早急な対応が求められることや、今後ますます多様化する行政需要に対応するためにも、新庁舎整備の計画を進めていきたいと考えています。
		○町民が自分たちの建物という意識高揚のため、キープランは建築に知識のある人、現職も交えて案をつくる。キープラン作成後、しかるところに設計を依頼する。	○いただいたご意見は、参考とさせていただき、今後検討いたします。

番号	意見項目	意見内容	町の考え方
14	その他	<p>○出来れば、工事、金も含め、建設業者とは関係ないところに工事管理をしてもらう。</p> <p>○工事の下請けはできるだけ町内の業者に依頼する。</p> <p>○3回だけの町民参加の委員会は、開催するのであれば建設的に意見交換ができて、きちんと計画に反映されるような委員会としてほしい。</p> <p>○報酬付きの委員会でなくて良いので、もっと幅広く意見やアイデアを集約して計画に活かしてほしい。</p> <p>○庁舎建設は度々するものではないので、耐久年数を想定した新庁舎の在り方を明らかにする必要がある。</p> <p>○地区の拠点確保が新庁舎建設に優先される事業と考える。防災・減災が文化として根付く町にするためには、このことに大きな比重を占める自助・共助を推進することが重要と考えるが、現在地域コミュニティーの核となる拠点が公平に整備されていない。新庁舎建設が町の防災・減災に寄与するとは考えにくく、町民にとって大切なことが後回しになると危惧する。故に新庁舎の安易な建設に反対である。</p>	<p>○工事の発注方式については、一般競争入札やプロポーザル方式など、様々な手法がありますので、今後検討をしていきます。</p> <p>○町民検討会は、回数が少ない中ではありますが、委員の方それぞれの立場や経験から、建設的な意見をいただいております。委員からの意見を集約し、計画に反映したいと考えております。</p> <p>○他にも2月に説明会を開催するなど、様々な場面において、町民の方の意見をうかがい、可能なものは反映しながら計画を進めていきたいと考えております。</p> <p>○庁舎の基本構造により、耐用年数は異なるため、費用や工期、耐用年数を踏まえた検討が必要であると考えております。</p> <p>○現庁舎は、耐震性の不足から、大地震が発生した場合、町全体の災害対応の中心として果たすべき機能を十分に確保することができず、さまざまな対応に遅れがでてしまうおそれがあります。スピード感を持って事業を進める必要があることから、速やかに新庁舎建設の計画を進めていきたいと考えています。</p>

番号	意見項目	意見内容	町の考え方
14	その他	<p>○議会を3階に置くことをやめて別棟としてはどうか。果樹公園を一部狭くしても良い。本館を低くすることで、木造の可能性も広がり、全体の経費としては低くならないか。</p> <p>○現在の庁舎では補修費用が大きくなるようになってるので、新庁舎整備については、そういったものを差し引いて正味の費用で見ることが必要ではないか。現庁舎の取り壊し後のことについても明らかにすべきと考える。売却には賛成できないが、緑や景観を傷つけるようなことがないようにすべきと考える。</p> <p>○新庁舎の建設にあたり、現庁舎、二宮小学校、駅前町民会館跡地、町民センター、正泉寺跡地等を有効活用するために、全体を一体化した再開発により付加価値の高い場所となるものとする。再開発と新庁舎を含む公共施設の再配置の計画は一本化して同時に進行することで、事業に必要な費用を産み出せるものとする。</p> <p>○出入りの車両について、県道の交差点で混乱しないよう、北口商店街の交通安全対策・活性化と合わせて検討をお願いする。</p>	<p>○果樹公園は神奈川県所有の土地であることから、現在のところ庁舎整備で利用する計画とはなっていません。また、木造でも3階建てが可能であることから、全体の経費としては、別棟より1つに建物とした方が、経費が低くなるものと考えております。</p> <p>○現庁舎跡地の活用については、町民センターや武道館などと一体的な検討が必要であることから、今後検討をしていますが、景観等を考慮したものとなるよう検討してまいります。</p> <p>○庁舎の移転に伴い、ラディアン周辺の交通環境に変化が予想されるため、今後、交通対策について検討していきます。</p>